

下関チェンバーアンサンブル 室内楽コンサート



Vol.9

＜出演＞ ヴァイオリン 志村寿一

ピアノ 山根陽一

ファゴット 近藤聡彦

2025.

9.20 (土)

下関市生涯学習プラザ 風のホール

開場 13:30/ 開演 14:00

チケット

一般 3,000 円 / 高校生以下 1,500 円

全席自由席 (当日各 500 円増)

※5 歳未満のご入場はご遠慮下さい。

チケット取扱い

下関市生涯学習プラザ



(QR コードから前売券のご予約可。チケットは、当日受付にて現金とお引換下さい)
問合せ：090-5373-1625 (近藤)

ハイドン

ピアノ三重奏曲 第 39 番ト長調「ジプシー」 Hob.XV/25

ベートーヴェン

ヴァイオリンとファゴットのための二重奏曲

第 3 番 Wo027

シューベルト

ピアノ三重奏曲 変ロ長調 D.28

メンデルスゾーン

ピアノ三重奏曲 第 1 番二短調

＜曲目ワンポイント＞

ハイドンの軽やかな名作「ジプシー」、ベートーヴェンの遊び心あふれる二重奏、若きシューベルトの瑞々しい旋律、そしてメンデルスゾーンの情熱的な三重奏曲で締めくくる、バラエティ豊かなプログラムです。芸術の秋のはじまりに、心ほどける室内楽のひと時を。



Profile

志村寿一 Hisaichi Shimura (ヴァイオリン)

マネス音楽大学に在学中、アーティスト・インターナショナル・オーディションに入賞しカーネギー・ワイル・リサイタルホールにおいてデビュー・リサイタルを行う。マネス・コンペティションで優勝し、音楽学士、修士と共にベスト・パフォーマンス賞を得て同大学を卒業する。これまでに Cayuga Chamber Orchestra 首席ヴァイオリン奏者を務めるなど、世界各地で多岐にわたる演奏活動を行っている。現在は赤坂音楽祭・音楽監督、桐朋学園芸術短期大学・特任教授を務め、また志村寿一・音楽の会「寿音」を立ち上げるなど、「身体と音楽との調和」を目指した独自のメソッドにより、あらゆる楽器の奏者を対象に指導を行っている。

著書「ヴァイオリン演奏のための・身体と音楽との調和」(せきれい社)。YouTube チャンネル「ひとつの音」

近藤聡彦 Akihiko Kondo (ファゴット)

下関市出身。県立豊浦高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科入学。卒業後渡米し、ニューヨークのマネス音楽大学にて大学院修士課程修了。コロラド州のアспен音楽祭'90～'93シーズンに参加。オペラ劇場オーケストラ等で首席奏者を務める。また'93年に韓国室内管弦楽団の定期公演ソリストとして招かれ、モーツァルトのファゴット協奏曲を共演。カーネギーホールにてソロデビューを果たす。13年に帰国。帰国リサイタルを開催。現在下関を中心に、下関チェンバーアンサンブルや防府音楽祭、北九州グランフィルハーモニー管弦楽団など、各地で演奏活動を行っている。

令和元年度下関市芸術文化振興奨励賞受賞。

山根陽一 Yoichi Yamane (ピアノ)

下関市出身。桐朋学園高校音楽科、同大学音楽学部卒業。ドイツ国立ハノーヴァー音楽大学留学。

大島正泰、弘中 孝、宝木多加志、マーティン・ドゥリエ各氏に師事。ソロリサイタル他、オーケストラや室内楽での共演多数。

ヴァイオリンコンクール等の伴奏他、日本ピアノ教育連盟オーディション審査員、TYSテレビ山口コンクール審査員を務める。

各地でピアノ指導の講座を行っている。

下関市芸術文化振興奨励賞受賞。

山口県音楽協会理事。

